

北地域まちづくり新聞

かわら版

第97号

(発行) 大口町北地域自治組織 (協力) 大口町 地域協働課

2020.12.1(師走)

白いタオルによる北地域安否確認訓練

北地域自治組織が10月17日(土)7時30分に防災無線放送から訓練開始の放送を行いました。

雨の中、各区の班長の皆さんが、各家庭で掲げられたタオルの数を戸別にカウントしたのち、区会役員の皆さんなどの中間集計者に報告を行いました。その後、中間集計者が、区長に報告を行いました。

区長は、全体件数を集計し、役場に報告しました。今回初めて、各区学共などに設置してある防災無線機を使用しました。区長から、「防災無線機の操作は簡単で取り扱いやすかった」という感想をいただきました。

皆様から「タオルを数えるだけではなく、タオルが掛かっていない家は無事でないで何か対応をするなど、災害時により役立つものにする必要がある。」「被災時に救助を必要としない世帯が、白いタオルを掲げることで安否確認調査を省くことができ、一刻を争う要救助者の特定に係る時間の節約ができるという、大きな効果が期待できる。皆さんの行動で、救助する人と救助を必要とする人を繋ぐために、来年以降も一世帯でも多くの方に参加いただき、地域の減災力をより強くすることができたらよいと思う。」等の意見が寄せられました。皆様の意見を来年度の訓練に生かしていきたいと思えます。



【無線で報告を受ける職員】

【本年度の集計結果】

総件数	無事 (タオル有り)	被災 (タオル無し)	未確認	無事率
3,402件	1,424件	1,380件	598件	41.86%

※無事(タオル有り)は年ごとに増加しています。

昨年度は無事(タオル有り):1,184軒、無事率:37.08%

私たちは、大口町北地域自治組織とともにまちづくりに取り組んでいます。

おいしさと安心をお約束する総合フードサービス

 株式会社 **いびすみ**

おせち料理・
各種会合料理
など 承ります



写真はイメージです

本社/丹羽郡大口町下小口三丁目123番地
TEL (0587) 95-7181(代) 0120-83-29-37

味・信頼・満足感

らなぎの犬安

犬山大安本店 0568-67-7498

犬山駅東フロイデ店 0568-65-0636

防災標語入選作品～ご応募ありがとうございました～

北地域自治組織が募集した**防災標語**に多くの応募をいただきありがとうございました。今年例年の防災標語に加え、感染症予防の標語も多く寄せられました。

北小学校では11月9日(月)の朝礼で表彰伝達があり、校長先生からは、11月5日が「津波防災の日」であることや、稲に火を付けて人々を高台に避難させた「稲村の火」のお話をしていただきました。※募集は大口北小学校(対象:4～6年生全児童)及び大口西小学校(対象:竹田地区在住1～6年生児童)のご協力により行うことができました。

【大口北小学校(4～6年生)】

〈4年生〉

- ・感染を ふせぐにみつや 手あらいと うがいをこまめに やってかんぺき
- ・つゆの時期 大雨注意 きをつけろ たまにはぼきん 助け合い
- ・マスクしよ 他の人の気持ちを 考えよ
- ・ねる場所に たおれるものを おかないで
- ・大雨で 川がいっぱい 近づくな
- ・かぐこてい じしんたいさく がんばろう
- ・地震だぞ 頭を守り おちついて



〈5年生〉

- ・平和への未来へ みんなで協力し 感染症予防をしよう
- ・火事するとき ハンカチを当てて しせいを低くして 外ににげよう
- ・手洗い、うがい、マスク、一つ一つの予防が たくさんの人達を守る行動
- ・3みつを みんなでさけよう みんなのため
- ・平気だよ その一言が 命とり
- ・大丈夫? あなたの家の 家具固定
- ・備えよう もしものときの ひじょう食



〈6年生〉

- ・ひなん場所 たしかめておく 地震前
- ・せめるのは 仲間ではなく コロナウイルス
- ・地震来た! 落ち着いて 体を丸くし 頭を守ろう!
- ・備えよう 大きな揺れが 来る前に 家具の転倒阻止しよう
- ・ゆれを感じたら きけんな物からはなれて あたまを守ろう
- ・「いつか来る」その「いつか」はわからない だからこそ今、備えよう
- ・自分のためひとのため 手あらいマスク ソーシャルディスタンス

てっいていして守ろう! 感染対策

【大口西小学校(竹田在住の1～6年生)】

- ・ちいさいひ みたらいますぐ 119ばん (1年生)
- ・かえったら てあらいうがい 1ばんに (2年生)
- ・みんなでやろう 手洗いうがいせきエチケット (3年生)
- ・地震きた ものからはなれて 今すぐに (4年生)
- ・コロナどこ 見えないからこそ 気をつけて (5年生)
- ・ひなん時に リストに追加 除菌グッズ (6年生)



【防災ラプラスク】



【未来の一本松タオルハンカチ】

入選者には「防災ラプラスク(南三陸町、5年間保存可能防災ラプラスク)」と「未来の一本松タオルハンカチ(陸前高田市)」を、また、応募者全員には参加賞としてクリアファイル2枚と2色ボールペンを送りました。

マンホールトイレ設置講習会と防災講座

今年度に河北、上小口に設置してある災害時トイレ用マンホールに使用する便座、テントなどが両区の防災倉庫備品として町から支給されました。

北地域自治組織は以前より、多世代が集う憩い広場（旧北小学校）の防災倉庫点検で培ったスキルを活用して、上小口区（11月1日）、河北区（11月15日）の役員等の皆さんに設置説明を行いました。

一番大変なことはマンホールの蓋開けです。参加された多くの皆さんに挑戦していただいた行政区もありました。便座の取り付け、テント設営も体験していただき、メーカーの説明書のみではわかりにくい点も発見できました。被災時に混乱なく手早く設置できるように補助資料を作成します。

また、中小口コミュニティセンター運営委員会主催の防災講座（10月25日）に北地域自治組織も共催させていただき、防災啓発や消火栓使用方法の説明を行いました。



【マンホールトイレ設置体験】

防災貢献団体表彰

令和2年11月5日（木）に愛知県庁において、防災貢献団体表彰式がありました。

北地域自治組織が単独で行っている北小学校など指定避難所防災倉庫点検などと共に、各行政区と町が共催・各種団体の協力で実施できている北地域避難・防災訓練など、多くの団体や地域住民の皆様の活動が認められたものです。

北地域自治組織は、今後も地域防災力が強化される活動に取り組みます。



【防災部会長と大村知事】

わいわい YYまつり～パネル掲示で活動を紹介～



【パネル掲示の様子】

11月7日（土）、8日（日）に中央公民館の集会室で「YYまつり」が行われ、北地域自治組織も参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年行われている「ふれあいまつり」が中止になり、それに代わるイベントです。活動団体を紹介するパネル展示や、物品販売などが行われました。

自転車教室～北小学校4年生の児童の皆さん～

11月12日(木)に大口北小学校の体育館で、北地域自治組織主催による自転車教室が行われました。江南警察署に依頼し、愛知県警第一交通機動隊自転車対策小隊「B-Force」に来ていただき、模範走法や障害物にぶつかったときの実演を交えながら安全な自転車の乗り方を指導していただきました。

児童(4年生106名)は、正しいヘルメットのかぶり方の学習から始まり、体育館に用意されたコースを自転車で慎重に走行して行きました。

◆◇◆注意すること◆◇◆

- ・ヘルメットは額を出さず、あごひもは指2本入る程度
- ・踏切は自転車を降りて引いて渡る
- ・信号が青になっても右、左、右後ろを確認する
- ・歩行者がいないときは、自転車に乗って横断歩道を渡って良いが、歩行者がいるときは自転車から降りて引いて渡る



【B-Force による自転車教室の様子】

福祉部会勉強会～生活支援と介護予防～

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自治組織での多数参加によるイベントが難しいため、福祉部会会員の勉強会を行っております。

9月の第1回「地域包括ケアシステム」に続き、10月は第2回「障がい者について地域でできること」を、11月には第3回「生活支援と介護予防」について、大口町地域包括支援センターの職員からお話を聞きました。

「生活支援」は、高齢化や核家族化が進む中、離れた家族では十分な支援ができなくなります。例えば、電球交換や高所の物の出し入れなどが、高齢者のみではできないため、家族以外の支援が求められるようになります。そうした時に、地域包括支援センターで相談をすることができます。

また、「介護予防」については、食事、適度な運動、趣味などの活動、脳トレーニングなどを継続して行うことにより、要介護状態にならないための予防に役立つということを学びました。

